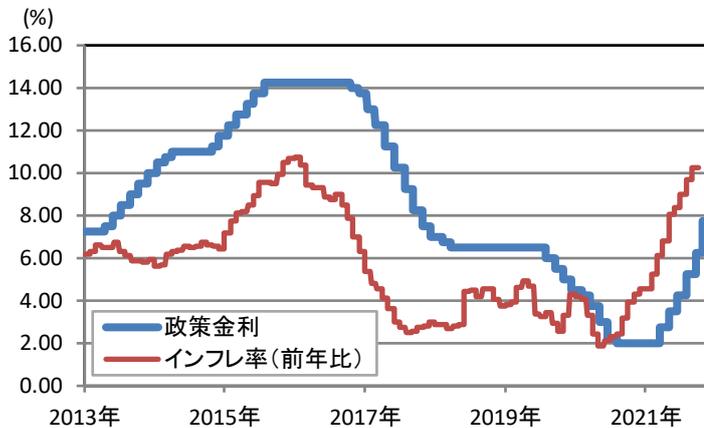


ブラジルの政策金利の引き上げについて

2021年12月8日（現地時間）、ブラジル中央銀行は、COPOM（金融政策委員会）において、Selic（政策金利）を1.50ポイント引き上げ、年率9.25%とすることを全会一致で決定しました。

ブラジル中央銀行は、7会合連続で利上げを実施しました。声明では、世界的な見通しについて、一部の先進国の中央銀行がインフレの持続性が高まっていることを考慮し、より明確に注意を払う必要があると表明したことが新興国市場にとっての環境をより厳しいものにしてきていること、冬季の新型コロナウイルスの感染拡大や変異株の出現により、先進国の経済回復ペースが不確実性を増していることを指摘しています。また、物価上昇を背景にインフレ見通しを上方修正し、更なる利上げの必要性を明確にしました。ブラジル中央銀行は3月以降、政策金利を計7.25ポイント引き上げていますが、物価上昇をインフレ目標値付近に落ち着かせるために次回会合でも今回と同程度の利上げが継続される見通しです。

ブラジルの政策金利とインフレ率の推移
 (2013年1月1日～2021年12月8日)



ブラジルの政策金利と変化幅

日付	政策金利 (%)	変化幅 (%)
2021年6月16日	4.25	0.75
2021年8月4日	5.25	1.00
2021年9月22日	6.25	1.00
2021年10月27日	7.75	1.50
2021年12月8日	9.25	1.50

* 政策金利は Selic、インフレ率は拡大消費者物価指数 (IPCA) を使用。
 * 出所: ブラジル中央銀行、ブルームバーグのデータより BNPパリバ・アセットマネジメント株式会社作成

本資料のお取り扱いにおけるご注意

- 本資料は BNPパリバ・アセットマネジメント株式会社が上記の時点で作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。
- 本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。